



# 平成十六年度聖和会総会を開催



平成17年2月19日発行  
第 31 号

発行所 聖徳大 聖和会 学  
所 大 和 会  
聖 和 会  
(047-365-1200)  
Eメール：  
seiwakai@seitoku.ac.jp



昨年七月四日の日曜日、本学クリスタルホール三階アミテイエにて聖和会総会が開催されました。

首都圏の他、宮崎、長野からも会員の方々が集まり、四十三名の出席となりました。

十二時より松原副会長の司会で総会が開始されました。加藤会長よりご挨拶がなされ、今春に通信教育部に社会福祉学科が新設されること、松戸駅前に生涯学習の会館が出来ること、そして学園創立七十周年の記念式典が昨年に開催されたことなどが報告されました。また、浦安に幼稚園が新設され、お祝いに聖和会より太鼓が寄贈されたことも報告されました。引き続き伊藤幹



事を議長に選出して予算・決算報告、監査報告がなされ承認され、また、児童学科講師の山川好子先生(第十六回卒)が幹事に推挙され了承されました。

総会に引き続き懇親会が開催され、昼食を取りながら会員同士親しく親交を深め、楽しい歓談の一時となりました。会員、役員とも、次回の総会での再会を誓ってお開きとなりました。



にその中で私自身も人間的に成長させていただきました。また今日に至っても、良き学びの友と親交を深めております。役員の皆様及び事務局の皆様が、今日の私達の聖和会の為に御準備、御苦労して下さいましたことに感謝致します。貴重な楽しい一日が過ごせることが出来ました。

聖和会総会に参加して

第十三回卒 小林レイ子

真夏のまぶしい陽ざしを浴び、雑草とビルに挟まれ、あまり人の通らなくなった石段は、ひっそりとそこにありました。夏のスクーリングや科目終了試験があるからと、昔は一気に駆け登った石段です。その頃は石段を登りきったところに校門があり、その先には、今とは比べようもない校舎が建っていました。今でも記憶に鮮明に残っていますのは、ピアノの科目終了試験に行った時のことです。プレハブ状の建物の中にピアノがズラッと並んでいて、そこで練習をしてからピアノの試験を受けたことがありました。三十代後半での通教への入学。それと同時にピアノのレッスンを始めた私にとっては、ピアノは難関の科目です。課題曲を練習しては試験に臨み、不合格になり、又挑戦、そして不合格を重ねた

数年でした。石段をしょんぼり、うつ向きながら降りてくる時のみじめさ、挫折感を何度も味わいました。再挑戦を繰り返して、やっと合格するまでに、六年の歳月が流れていきました。

もう、四半世紀以上も前のことですが、石段で流した涙は、その後の私の人生の礎となりました。卒業後は保育園での職を得、定年まで全うできました。

通教では恩師の薫陶を受け、志の豊かなたくさんの友人に出会いました。聖徳の通教で学んだ日々は、私にとって何ものにも代えがたい宝物です。

今回の聖和会総会に出席して、頑張っていたらっしゃる先輩の話や身近に聞きました。その方は卒業後は子ども達を育てる職場で全うされ、その後、母校に奉職。現在は大勢の学生を相手に子どもを育てる「心」を伝えていきたいと、学生への昼間の講義を終了後、更に夜間の大学院で学ばれたとのこと。年齢を感じさせない旺盛な向学心に感銘を受けました。

総会に集われた皆様も背筋がピンと伸び、凛と生きていらつしやる女性が多いようにお見受けしました。

益々発展する聖徳大学、そして聖和会の一員であることを誇らしく思っております。

- 平成十六年聖和会総会出席者
- (順不同・敬称略・カッコ内卒回数)
- 加藤敏子(3)、西内好子(3)、伊藤幸子(4)、松原ミチ(5)、市村祥子(5)、三浦瑛子(9)、横田友江(22)、渡辺美恵(1)、目道子(3)、横田喜士子(4)、上山富子(5)、木野和子(5)、海老原啓子(6)、今野きよ子(7)、木村夏子(9)、岡田喜美子(9)、山本佳子(9)、平部千代(11)、堀江佐恵子(11)、高橋充子(12)、小林レイ子(13)、宇田川満子(13)、白河則子(14)、片岡光子(14)、有馬美智代(14)、小林陸恵(16)、山川好子(16)、山口克子(21)、古賀富紀子(21)、加藤恵子(25)、阿部信子(31)、船木栄子(31)、湯本美津子(38)、高橋悦子(38)、喜多代信子(38)、江原節子(40)、小林知江(40)、玉谷幸枝(41)、近藤トシ(45)、佐々木美枝子(45)、金原安江(49)、小玉ヨシエ(52)、佐藤清子(54)

◎総会にご参加の方より総会のご感想をお寄せいただきました。(郵送着信順)

聖和会総会に参加して

第六回卒 海老原啓子

私を通った頃の校舎が今では周りの新しい校舎の群の中で小さく見えました。あのころは利根山光人先生の壁面の校舎を目指して汗をかきながら坂道を急いだものでした。卒業も六十回を数えるまでになると私のような桁回数世代としては隔世の思いです。会場に入るや否や「お久しぶり」。お元気でした？と声を掛けていただき、一人で参加した心細さも吹き飛びました。総会では定例の報告の他に嬉しい報告がありました。十六回卒の山川さんが母校の教官になられたそうです。学ぶ方にとっては、母校に帰ることは一番の誇りであるとか。懇親会はテーブルでお弁当をいただく形式でしたので、ゆったりとお話をすることができました。とはいえ楽しい時間は意地悪く早くすぎるもので、あっという間に別れの時間になってしまいました。参加してよかったといつも思えることは、同期の方々だけでなく、年次を越えた新しい知人ができることで、いろいろなお話を伺うことができます。いつも驚かされることはみな

なさんのご活躍振ります。みなさんが社会に貢献されていることは誇りです。平々凡々日々をおくる私にとつては、皆さんにお会いするとみなさんの「元氣アドレナリン」が私に入ってくるのを実感します。いただいたパワーを大切にまたお会いできるのを楽しみにして働くことといたします。

聖和会総会に参加して

第四十回卒 江原節子

今年も聖和会、楽しみに出席させていたいただきました。今回はどのような方々と又お会い出来るのかと、懐かしく思いうかべながら松戸駅の改札を出た時、背後から友の声が開こうと声を掛けられて、とても嬉しく感じていた時、偶然にもまた友に出会い、久しぶりに訪れる母校のクリスタルホールへ着く道すがら、昔一緒に勉強した懐かしいお話の種がつかまませんでした。

会場にはすでにたくさんの方々が出席され、まもなく総会が始まりました。議長の進行により議題も順調に進み無事終了。その後は準備された楽しいお食事会でした。今日出席された方々と共にお食事をしながら懐かしいお話ができました。それは聖徳大学で学び、卒業できたおかげです。さら

聖和会総会に参加して

第五十四回卒 佐藤清子

総会の日は、梅雨の最中とは思えぬ程の  
厳しい暑さの日でしたが、近頃は勿論のこと、  
遠く宮崎、長野、新潟など、その他、同窓の  
皆さんが大勢見えられ、私は初めてでしたが、  
会場は卒業生の笑顔と懐かしい会話が  
包まれ、本当に楽しかったです。

卒業のためのカリキュラムで加藤先生のご  
講義がありました。あの時の明るく楽しく話して  
下さった先生が会長さんで、すぐ目の前にいら  
っしゃったので、嬉しく懐かしくお世話にな  
った日々を思い出して、有難く、お礼を申し上げ  
たり、地域でお世話下さった先輩(役員さん)に  
お会いできたり、嬉しゅうございました。

会長さんを始め、役員の方々、事務局の皆様  
のご努力で平成十四年度、十五年度の決算報告  
及び事業報告、十六年度の予算、事業計画(案)  
などすべて承認され、皆様のおかげながらのご  
努力に感謝の気持ちでいっぱいでした。

続いての昼食会は、心をこめて作られた和洋食が  
沢山食べ切れない程で、きれいに盛り付けられ  
た品々、オードブルも沢山でどれも本当におい  
しくいただきました。近くに並んだ皆さんとすぐ  
親しくなっていました。

しました。これも、あの丘に聖徳があったから、  
あの石段が私を導いてくれたから、先生方や仲間  
たちに出会えたから、すべてが遠くなつてしま  
いましたが、記憶は小刻みに出てくるから不  
思議です。「あらあーあなたお元気でした!」と  
呼びあつてあの時はあつた、こうだったという  
風な会話もほんとうにいいものです。こうして、  
私はのんびりと、会場へ参りましたが、役員の方  
々のご苦勞は如何ばかりかと存じます。大方が  
私の卒業前後の方々でよくお顔を存じあげて  
おられます。なにせ発足と同時に役をひき受  
けられたと思われますから、すごい力だと思  
います。一筋にやり抜く意志のようなものを感じ  
ます。これも昼食の席で知りましたが、会長さん  
が聖徳大学の教授であり、つまり、われら仲間  
のひとりですが、卒業後も延々と聖徳の丘で暮  
らしているという事実が強く印象に残りました。  
太い綱を握っているような安堵感を覚えました。  
頼れる綱の根本ということでしょう。「聖和会」と  
いう言葉を耳にすれば、やっぱり、なつかしみが  
先立ちます。授業のすべてが、あの頃の学業への  
情熱が、「聖和会」に収斂されます。「聖和会」が  
抱く深い淵があるような気がします。努力、  
努力がそれを培い、聖和会をつくり

ろい会話も楽しかったです。

「以前は物理もあつて大変でしたのよ」と  
Aさん。「私はおかげ様で四十年間保育を  
続けられました」とBさん。「私は保育の  
勉強をしたり子ども達が好きなので保  
母さんになるのが幼い頃から夢でした。  
園で学んだ日々は私にとって第二の青春  
でした」と私。つい頑張りすぎて気が  
つく朝になってしまつたり、懐かし  
く思い出され

ました。 会長さんのご挨拶の中で、  
昨年学園創立七十周年とともに、今春  
には七つ目の幼稚園が浦安に開園を  
迎えたことは、ほんとうに喜ばしい  
ことです。

総会に出席の皆様も、楽しい会話で包  
まれている中、益々学園の発展を心  
から祈願し、元気でまたの再会を  
楽しみに散会となりました。 なんだか  
名残り惜しかったですね。 次回も  
是非友達と声を掛け合つて出席  
させていただきたいと楽しみにして  
おります。 いろいろご努力と支  
援して下さいました事務局の皆様、  
役員の皆様、本当に有難うござ  
いました。

大学での総会に出席して

第五回卒 木野和子

久しぶりに総会に出席、名簿を眺めてい

あげたという気が今になってします。

ピアノ、ピアノ、ピアノ、ピアノ……こ  
れは怖ろしいばかりでしたが、卒業後逆  
に味方になりました。「人生って楽しい  
のですネ」って唄いたいくらいです。定  
年後十数年、今では、ばらりん、ばら  
りん、ばらりん、ばらりん、ばらりん、  
弾いています。

今度の総会は、大学で二年後にある由  
でああ、私、もうすっかり老いてしま  
いました。元気でいるといいなあと思  
います。今度は、もつともつと沢山の  
方々に会いたいー見知らぬ方々とも  
話し合いたいと思ひます。役員の方  
々も、出席された皆さま、ごくろう  
さま、有難うございました。そして、  
全国の聖和会の皆さま、どうぞお元  
気で暮らしてくださいませ、心よりお  
祈り申し上げます。

聖和会総会に参加して

第十一回卒 平部 千代

平成十六年度聖和会総会が七月四日  
本校にて開催されました。当日は  
梅雨も半ばの晴天のとても暑い日  
でしたが、広々としたキャンパスに  
一歩足を踏み入ると、涼風が頬をな  
でました。

今回は私にとって、新校舎になつて  
から始めての訪問でしたので、どん  
な風に変

て、真つ先の、一回生一名、の出席がな  
ぜか強く印象に残りました。偶然、食  
事の前席がその一回生の方で私の娘  
の年齢と同じくらい、そうか、あの  
時、私は四十歳を数年過ぎていたの  
だと思ひかえました。 大学構内に  
当時の面影は大方無く、わたしども  
をこの大学の丘に導いてくれた急な  
「石段」ばかりが隅の方で元気に  
当時のままに生存しているのを知  
りました。 思い出しました、既に老  
齢であつたと思われる山村先生(保  
育原理)が「石段を上る時のコツが  
あるの、靴先を少しばかり石段にの  
ける、のつけたはずみで身体を引  
き上げるのよ、とっても楽なの、こ  
れ私の大発見なのウホウホホッ」と  
闊達に話されたのを覚えていま  
す。もう二十七年も前のことです。  
腰を痛めている私は山村先生のよ  
うにはいかず、一段一段を踏みし  
めて下りました。(上りはデパート  
の中を通りました!) 下りも山村先  
生は爪先から下りて、その後どうい  
う仕事で下りて行かれたのだらう  
と、なつかしみました。

会場は思ったより少人数でしたが、通  
信で教育を受けたものの顔付きとい  
うものがあるように思ひます。とも  
かく一生懸命努力しましたよね、お  
互いに。そして私の事で言えば二十  
年近くを園児たちと共に過



わつたのか、とても楽しみでした。校  
門をくぐると、目の前に大きなモ  
ニュメントがあり、又何棟もの校  
舎、川並記念講堂等ありつぱな  
たずまいに、しばし驚き見とれて  
いました。

(旧校舎の頃を思い出して、懐かし  
さや、立派に変貌した母校に、嬉し  
さと誇りを感じ

じながら...)

総会は決算報告、事業報告、予算案、事業計画、監査報告等の議事が、スムーズに進行し可決されました。

加藤会長よりご挨拶があり、聖和会の会則の変更の説明、創立七十周年記念事業の一つである図書館建設募金依頼のお話がありました。

引き続き懇親会に移り、久しぶりの再会に話はずませ、お互いに親交を深め、和やかなうちに閉会となりました。

聖和会総会に参加して

第五回卒 上山富子

聖和会総会の葉書をいただいたのと同後して、永年賀状のやりとりを行っていた聖和会幹事の伊藤さんが定年を迎えられ、第二の人生を歩みはじめたむねの葉書をいただき、お会いしたいなと思ったのと、私も一昨年永く勤務した相模原市役所を定年を迎え、市のこともセンターで第二の人生を歩ませてもらっており、今は少しゆとりが出来、約三十年振りに学校で行われる総会に出てみる事にいたしました。

真夏のスクーリング時の暑さと長い高い石段を登ってやっと学校の正門にたどり着いた事を想い出しつつ松戸の駅に降りまし

た。

駅前の様子がよく思い出せない程変わり、イトーヨーカ堂の五階から学校の正門へ通じる：なんと便利になった事！

学校の校舎も立派になり三十年の年月を感じさせられました。

総会に出席してみますと、やはり賀状をやり取りしていた今野さんも参加されていてまたまた、びっくり。お互い三十年の年月を忘れ、昨日会っていたかの様にお話をする事ができました。

一口に三十年という月日は、私の人生の生きざままで十五年振りに一人息子が生まれたり、学校を卒業と同時に相模原市の保育園の園長になり、その後は行政で保育指導担当や女性政策課、保育課の課長や保健福祉部の次長をやらせてもらい、市の政策決定の場や議会の委員会で答弁をしたり、いろいろな経験が出来たのも、少々ではへこたれない強い精神力を養わせていただいたのは、苦しかった通信教育のお陰と感謝しております。

三十年振りにおとずれれた母校が大きく発展し、本当に嬉しいです。ではみな様の健康を祈りつつ総会に参加させていただきます。お礼とさせていただきます。

聖和会総会に参加して

第五十二回卒 小玉ヨシエ

たった二時間の総会のためにわざわざ新潟から出かけるなんて：と逡巡し、散々思案した揚句、結局なつかしさに負けて出席することになりました。

朝の上越新幹線は申し訳ない程すいていてMaxときの二階座席でさえガラガラでした。ゆったりとした気持ちで旅行雑誌のクラブピアなど見ながら、当日のスタートは幸せでした。上野駅の長い長いエスカレーターを降り、常磐線に飛び乗るとさすがが快速、あつという間に松戸に着きました。

時計を見るとまだ十時でした。スクーリングの度に一度は訪れてみたいと思っていた戸定が丘歴史公園へ行ってみることにしました。駅の売店で道順を開き案内板を頼りに歩き出して十五分、木立に囲まれた小高い丘の上の公園に着きました。静かで涼しい公園はまさに別天地でした。

水戸藩最後の藩主の別邸ということだけあつて趣きのある門、手入れの行き届いた庭など見ごたえがありました。別棟の茶室では裏千家の茶会が催されており「ご一服いかがですか」と誘われましたが、先を急ぐ身、丁重にお断りして散策を続け、千葉大学園芸学部のカンパスが見え隠れする

道を通って帰りました。

「アミティエ」での総会は定刻に始まり、役員のみなさんのてきぱきした進行で短時間ですべての議題の審議が終わり、無事終了しました。

その後場所を変えて、といってもすぐ後に席が設けられてあり、そこで続いて懇親会が行われました。懇親会にはやはり楽しいものでした。お弁当に果物にケーキ、コーヒードと盛り沢山のデラックスランチを前に話是在学時代に集中し話題の中心はピアノでした。保育園の園長さんや自分で保育園を経営している人、児童委員や理事など、みんなそうそうたるその道のエキスパートの集まりなのに、ピアノが一番苦しかったと過ぎし日をなつかしみ、笑顔で語れる現在を喜び合いました。

次の総会は新装になったフロンティアで開催されるとか、きつと素晴らしい建物が出来上がるのだらうと想像し期待しています。しかし、会食の時も帰路の話題にもなつたのですが一泊二日の総会も捨てがたい味があり、機会を見て「山中湖荘」でやってほしいとの意見もありました。

ずっしりと重い大学ガイドブックと校章入りのどらやきはよいお土産になりました。久しぶりに訪れたキャンパスの見慣れ

た風景の中で充実した時間を過ごすことができ、参加してよかったと思えました。

お忙しいなか、いろいろお世話下さった会長先生はじめ役員、事務局、関係のみなさま方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

聖和会に感謝

第四十五回卒 近藤トシ

リンリンと電話のベル。受話器を取ると「聖和会の〇〇ですが」「近藤さんテレビで見ました。水害の方はどうですか」と毎日お見舞いの電話を頂きました。あつ聖和会に入会出来て良かったと、受話器を取り思わず涙が出て来ました。七月十二日の夜から、十三日にかけて私たちの住む新潟県は記録的な集中豪雨に見舞われ怖さをまざまざと見せつけられた思いです。幸いにして私の住む地域は人害や家屋の影響は少なく、ただ土砂崩れで山が小川に落ちていく様を家の中から見ている有様です。大きな災害にならないければと祈っております。

七月四日、聖和会の総会に参加して、懐かしい校舎にて旧交を温め楽しいひとときを過ごさせて頂きました。その時感想文を頼まれましたが、毎回提出しているのこの度は辞退させて頂きますとおことわりし

たのですが、聖和会の方々が暖かい励ましのお言葉を頂き感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

真夜中に大声出して目をさまし

眠りては見る水害の夢

いつまでも卒業式の写真をは

飾っておきます我が枕もと



平成16年度 聖和会役員・支部長

●役員

(敬省略)

役 職	氏 名	卒	役 職	氏 名	卒
会 長	加藤 敏子	3	幹 事	青木 幸江	19
副会長	松原 ミチ	5	〃	横田 友江	22
監 事	大手 ミツ	3	〃	内田 京子	23
〃	伊藤 幸子 (9月より)	4	〃	野原 淳子	25
幹 事	西内 好子	3	〃	川並みつえ	26
〃	市村 祥子	5	〃	枝村 理佳	27
〃	物江 文子	7	〃	小泉 久子	29
〃	三浦 瑛子	9	〃	板橋 優子	30
〃	河野 暁子	10	〃	辻田 晶	
〃	小林 康子	11	〃	高橋 正徳	
〃	安中 栄子	11	会 計	元井 忠夫	
〃	山川 好子	16		戸田 良典	

●支部長

支 部	氏 名	卒	支 部	氏 名	卒
青 森	坂本 英子	12	神奈川	塩永 治子	4
岩 手	大沢 孝子	3	〃	安藤美智子	7
宮 城	塚野 澄子	13	〃	内山 保子	13
山 形	佐藤万里子	17	〃	村田美恵子	22
福 島	上遠野啓子	4	山 梨	岡田つき子	13
茨 城	植田 光子	8	長 野	平部 千代	11
〃	清野美代子	14	新 潟	阿部 廣子	12
栃 木	丸山 静子	3	岐 阜	成瀬 政子	5
〃	稲田 孝子	13	静 岡	大野千賀子	15
群 馬	海老原啓子	6	〃	加藤 淳子	32
埼 玉	小口 昭江	11	愛 知	朝生 福代	18
〃	駒形 正子	45	三 重	安藤ふみ子	14
〃	豊田聖世子	51	大 阪	勝井りつ子	17
〃	手柴 涼子	51	兵 庫	小山千世子	13
千 葉	日野 節子	9	〃	宇都 順子	33
〃	山本 佳子	9	広 島	三上 智子	9
〃	福永 妙子	10	山 口	木村 照子	15
〃	矢部美佐子	35	愛 媛	徳丸 房枝	6
〃	古川 和子	35	熊 本	畠山 良子	12
東 京	山本 京子	47	大 分	谷合真由美	17
〃	小野なおみ	59	宮 崎	倉井 絹江	12
			鹿 児 島	大倉 智子	13

東京支部会を開催

幹事 山本京子

冬晴れに恵まれた一月三十日(日)に、聖和会東京支部親睦会が行われました。今年のは、和風懐石料理のお店で個室の座敷を借り切り、落ち着いた雰囲気が進められました。

毎年参加される方、今年初めての参加の方それぞれでしたが、近況報告では皆さんの前向きな姿勢に感心させられ、「私も頑張ろう!」という気持ちになったのは、参加された皆さん全員が感じたことではないでしょうか。

残念なことと言えば、皆さんの都合が合わず、例年よりも参加人数が少なかったことですが、その分、出席者の皆さん同志気軽に会話ができ、なごやかなひとときを過ごすことができました。

この親睦会をこれからも続けていき、一年に一度皆さんから元気をもらいたいと思っています。

まだ参加されたことのない方もぜひ参加してみてください。  
お待ちしております。

埼玉支部会を開催

幹事 小口昭江

雪の予報に不安でしたが、幸い雨となり新春の雰囲気はまだ残る中、埼玉支部会を開催する事が出来ました。  
日時 平成十七年一月十六日(日) 十一時～  
場所 埼玉県立近代美術館・館内レストラン ベペロネ

「この大学で資格を取ってよかった!」というこぼれ出た喜びの言葉から懇親会が始まりました。そしてそれまでの共通の苦労話に、しばし没入しました。更に今の切実な現場からの声として、子どもたちの母親の心の貧しさに悩む話、子育て支援にかかわる諸問題について等、熱い意見が交わされました。

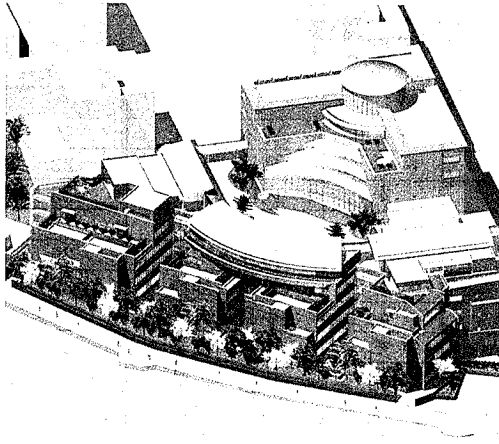
親睦後、モネ、ルノアール等所蔵名作選を解説つきで鑑賞し、再会を約して名残を惜しみつつ心豊かに帰路につきました。



## 新一号館の建築開始

昨年九月より、新一号館・図書館の建設が始まりました。新一号館は、図書館・メディアセンターと教室棟からなり地下二階、地上八階建ての建物として平成二十一年に完成する予定です。

先に松戸駅前には建築が進められていた聖徳大学生涯学習社会貢献センターは、今春いよいよ開設の運びとなりました。生涯学習の拠点として大いに期待が寄せられています。



## 大学に社会福祉学科を新設

人文学部も四年目を迎え、この三月には初めての卒業生を送り出すこととなりました。その人文学部にこの四月、社会福祉学科を新設します。従来の児童学科にあった社会福祉コースを時代の要請に添えて、学科として独立すること致しました。この学科では社会福祉士・精神保健福祉士(とにも受験資格)の取得以外に、新たに高等学校教諭一種免許状(福祉)や養護教諭一種免許状、訪問介護員(ホームヘルパー)二級の取得も計画されています。

## 大学通信教育部で編入学生を募集中

人文学部の児童学科、英米文化学科、日本文化学科の三学科では、現在、四月生編入の願書受付を行っております。

聖和会員の方で、幼稚園一種免許、大学卒業資格を取得したい、大学の専門教育を学びたいという方は、ぜひご入学ください。本学通信制大学では、幼・小・中・高校の教員一種免許状が取得できるほか、社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格などを取得することも可能です。新設の社会福祉学科でも編入生を受け入れます。

## 平成十七年度大学・短大部の学生募集

大学・短期部の通信教育部では、五月十日までの期間、四月生の入学願書を随時受付しております。お近くでご希望の方がおりましたらパンフレット・願書を無料にてお送りいたしますのでご連絡ください。

### 訃報

初代聖和会会長で長年にわたって監事をつとめられました、佐藤千枝子さんが昨年八月七日にご逝去されました。謹んでここに、ご冥福をお祈り申し上げます。

※佐藤さんのご逝去にともない、昨年九月五日に臨時役員会が開催されました。そこで欠員となりました監査の選出が行なわれ、伊藤幸子さんが全員一致で推薦されました。

## 卒業生名簿等の掲載について

従来聖和会報に卒業生の住所・氏名、並びに現会員の住所・氏名変更者の一覧を掲載していましたが、個人情報保護法の施行に伴い掲載を見合わせ、今後会員名簿も作成しないことと致しましたのでご了承ください。